

こんにちは！！カンボジアから

Hello!! -letter from Mamiko Tanaka-

ស្ទួស្ទួ!! -សំបុត្រពីម៉មីកូ តានាកា-

「スオッスダイ！！ ソンボット ピー マミコ タナカ」



残りの任期、2ヵ月。

先月の東北関東大震災におきまして、被害に遭われた方々に憤ってお見舞い申し上げます。また犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、一人でも多くの方のご無事と、一刻も早い復興を心から願っております。

東北関東大震災のことを知って、すごくどんよりした気持ちでした。この通信を書いたり、ブログをアップすることに対してためらいがあり、なかなか書けずにいました。被災地の方々の為に自分にできることがないことにイライラしたりもしましたが、でも、今自分の

やるべきことは、カンボジアでの2年間の活動を最後までやりきること!!ではないかと考えられるようになりました。日本のためにいろいろな国が動いてくれています。周りの国が日本を助けてくれるのは、今まで日本が他国を援助してきた歴史があるから。そういった日本と他国との関係がこの先も継続されていくためには、私たちボランティアが今やれることを精一杯行い、今、他国が日本のためにいろいろな援助をしてくれる恩返しをしていくことが大事なのではないかと思えます。残りの任期は約2ヵ月程となりました。先に述べたような思いで、毎日頑張っていきます！！

カンボジア号 NO. 15
2011-04-24

青年海外協力隊・カンボジア派遣
田中真実子(大垣市立安井保育園)
mamikomima@hotmail.co.jp

クラチェ州 クロン幼稚園 その12

「クラチェ市内7園の幼稚園教諭対象の講習会を始めました！！」

州教育局と、市教育事務所、ある幼稚園の先生の要望から、他園の教諭対象に講習会を開くことが決定して、今週、5回目が終わったところです。教育局の職員や他園の先生に私の活動を認めてもらえたことが嬉しかったのですが、実際にどの時間帯にどんな形態で進めていくのかといった点が難しく、開催までにかなり時間を要しました。あくまでも私の配属先は「クロン幼稚園」。配属先を犠牲にしてまで、活動を展開する必要はないと思っていました。しかし、いろいろな人の後押しがあったこと、配属先の園長先生の「講習会をやろう！！」「私たちも一度は教えたもらったことだけれど、もう一回おさらいすれば確実に身につけられるでしょ?」と前向きな一言があったこと、うまく開催形態を調整できたことから、講習会開催を決意しました。

講習会をやりながら、「こういう姿っていいなあ〜」と思うことがあります。それは、私がクロン幼稚園の先生たちに指導してきたことを、クロン幼稚園の先生たちが今度は他園の先生たちに指導しているということです。私一人で教えるのはいちばん簡単なこと。でも私が伝えたことが今度はその人の手で、また違う人へ伝わっていくってすごく素晴らしいことじゃないですか？うまくいかないことも多いですが、自分のやってきた活動が無駄ではなかったと思える時、すごく喜びを感じます。あと7回ほどしか開催できないのが本当に残念ですが、限られた時間の中で、他園の先生にもいろいろな形で刺激を与えていきたいと思っています。



「ワークシートの活動も順調です」



机と椅子が全員分ないため、一斉指導は難しいのですが、子どもたちはいつもワークシートの時間を楽しみにしています。そして、そのための順番も待てるようになりました！！すごい☆



「動物」の教材作成→実践」

カンボジアの保育カリキュラムでは、「何月は～について勉強する」と決められています。3月は「動物」について学ぶ月でした。先生たちの中には動物を描くのが苦手な人も多いことや、動物に関しての教材が不足していることもあって、改めて教師みんなで動物の特徴を確認しながら、教材を作っていくことを提案しました。表は動物の絵(色で塗ってある)、裏は動物の影の絵の2面構成の教材を作りました。この教材作成の中で、絵具の使い方の指導、各動物の特徴についての指導等を行いました。今回、裏面に影の絵をあえて貼った理由を、影の絵を見て、どんな動物が想像させるねらいがあるんだと説明しました。なぜ?という部分を明確に先生たちに伝えていきたいと思っています。

「病院ごっこ遊びの展開」子どもたちは「働く人」を真似することが大好きです。病院ごっこ遊び教材の作成後、子どもたちが遊んでいる様子です。

とくに注射をうつ時が一番のお気に入りようです。聴診器は、水道のジョイントと細いホースで作りました。近所の大工さんにもジョイントの穴あけを手伝ってもらいました。



「先生のオリジナル話」



絵本がなくても読み聞かせはできる!!ということは何度も発信してきました。だってクメール人でない私がつたないクメール語でオリジナルの話をして、子どもたちは耳を澄ませてくれるのだから☆いかに声色に変化を持たせるか、そして顔の表情も重要。左の先生はかなり上手に話を聞かせられるようになりました。



癒される子どもたちの笑顔

他 NGO と連携「農村部での活動」～子どもたちの母親へ～



昨年の11月から始めた農村部の母親への指導。村の人たちは肉や魚をあまり摂取できないため、プロテインが不足しています。それを補うために、大豆類の摂取を促し、大豆で簡単に作ることができるおかずやお菓子の紹介をしながら共に作りました。ビタミンもかぼす汁をしぼって補い、大豆のあんこを作ったところ、離乳食としてもOKで村人&乳児も大に食べられました。栄養面の分類表を提示し、一緒に栄養素や普段使っている調味料(味の素)について考える時間も設けました。



「最後かも?カンボジアの結婚式♥」



ひとくちクメール語!!



ខ្ញុំចូលចិត្តម្ហូបធម្មតា!! 欠コム チョールチャット・モックニョム・ベツ あなたの笑顔が好き

Send a Message... Cheer up



～被災地のみなさんへ～
クロン幼稚園からのメッセージです！！